

II 農村振興モニターを対象とした アンケート調査の結果

(単純集計)

1 農村振興モニターの属性（白色のアンケート用紙）

問1 あなたのことについて、いくつかおたずねします。

(1) あなたの住んでいる場所について教えてください。

農政局	No.	都道府県名	農村振興モニター数		回収		回収率	順位
			件数	(全体)%	件数	(全体)%		
北海道	計		112	13.5	47	11.6	42.0	9
	1	北海道	112	13.5	47	11.6	42.0	34
東北	計		146	17.5	75	18.5	51.4	3
	2	青森県	44	5.3	22	5.4	50.0	19
	3	岩手県	21	2.5	8	2.0	38.1	36
	4	宮城県	18	2.2	8	2.0	44.4	25
	5	秋田県	22	2.6	12	3.0	54.5	11
	6	山形県	11	1.3	6	1.5	54.5	11
	7	福島県	30	3.6	19	4.7	63.3	6
関東	計		189	22.7	90	22.2	47.6	7
	8	茨城県	0	0.0	0	0.0	0.0	
	9	栃木県	19	2.3	8	2.0	42.1	31
	10	群馬県	29	3.5	12	3.0	41.4	35
	11	埼玉県	31	3.7	15	3.7	48.4	21
	12	千葉県	19	2.3	8	2.0	42.1	31
	13	東京都	1	0.1	1	0.2	100.0	1
	14	神奈川県	14	1.7	10	2.5	71.4	4
	19	山梨県	10	1.2	3	0.7	30.0	39
	20	長野県	47	5.6	25	6.2	53.2	15
	22	静岡県	19	2.3	8	2.0	42.1	31
北陸	計		82	9.9	45	11.1	54.9	2
	15	新潟県	23	2.8	11	2.7	47.8	22
	16	富山県	19	2.3	9	2.2	47.4	23
	17	石川県	19	2.3	14	3.5	73.7	3
	18	福井県	21	2.5	11	2.7	52.4	18
東海	計		81	9.9	37	9.1	45.1	8
	21	岐阜県	41	4.9	19	4.7	46.3	24
	23	愛知県	18	2.2	11	2.7	61.1	7
	24	三重県	23	2.8	7	1.7	30.4	38
近畿	計		55	6.6	27	6.7	49.1	4
	25	滋賀県	25	3.0	11	2.7	44.0	29
	26	京都府	10	1.2	6	1.5	60.0	8
	27	大阪府	0	0.0	0	0.0	0.0	
	28	兵庫県	9	1.1	4	1.0	44.4	25
	29	奈良県	11	1.3	6	1.5	54.5	11
	30	和歌山県	0	0.0	0	0.0	0.0	
中国四国	計		84	10.1	41	10.1	48.8	5
	31	鳥取県	9	1.1	4	1.0	44.4	25
	32	島根県	9	1.1	4	1.0	44.4	25
	33	岡山県	0	0.0	0	0.0	0.0	
	34	広島県	17	2.0	9	2.2	52.9	16
	35	山口県	11	1.3	4	1.0	36.4	37
	36	徳島県	12	1.4	6	1.5	50.0	19
	37	香川県	0	0.0	0	0.0	0.0	
	38	愛媛県	19	2.3	10	2.5	52.6	17
	39	高知県	7	0.8	4	1.0	57.1	10
九州	計		81	9.7	39	9.6	48.1	6
	40	福岡県	10	1.2	6	1.5	60.0	8
	41	佐賀県	0	0.0	0	0.0	0.0	
	42	長崎県	0	0.0	0	0.0	0.0	
	43	熊本県	17	2.0	11	2.7	64.7	5
	44	大分県	13	1.6	7	1.7	53.8	14
	45	宮崎県	14	1.7	6	1.5	42.9	30
沖縄	計		1	0.1	1	0.2	100.0	1
	47	沖縄県	1	0.1	1	0.2	100.0	1
不明			0	0.0	4	1.0	0.0	
			832	100.0	405	100.0	48.7	

(2) あなたの性別についてお答えください。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	187	46.2
2	女性	215	53.1
	不明	3	0.7
サンプル数 (%ベース)		405	100.0

(3) あなたの年齢についてお答えください。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	20～29歳	42	10.4
2	30～39歳	83	20.5
3	40～49歳	82	20.2
4	50～54歳	34	8.4
5	55～59歳	38	9.4
6	60～64歳	40	9.9
7	65～69歳	34	8.4
8	70歳以上	48	11.9
	不明	4	1.0
サンプル数 (%ベース)		405	100.0

(4) あなたの家は農林漁家ですか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	はい	80	19.8
2	いいえ	321	79.3
	不明	4	1.0
サンプル数 (%ベース)		405	100.0

(5) あなたは農林漁業に従事していますか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	はい	69	17.0
2	いいえ	332	82.0
	不明	4	1.0
サンプル数 (%ベース)		405	100.0

(参考)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農林業	14	3.5
2	農林業以外の自営業主	5	1.2
3	家（自営業）の仕事に従事	17	4.2
4	会社経営者・役員	9	2.2
5	会社員	42	10.4
6	団体職員	25	6.2
7	公務員	118	29.1
8	主にパート・アルバイトに従事	48	11.9
9	主に家事	55	13.6
10	主に通学	1	0.2
11	年金・恩給生活者	42	10.4
12	その他	8	2.0
	不明	21	5.2
サンプル数 (%ベース)		405	100.0

問2 あなたは地元の農山漁村で、農山漁村の活性化（例えば、都市農村交流、農産加工、農業体験、環境美化、伝統文化保全継承活動等）に向けた活動へ参加していますか。

（1）現在の参加状況についてお聞かせください。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	現在、参加している	84	20.7
2	現在、参加していない	321	79.3
	不明	0	0.0
サンプル数 (%ベース)		405	100.0

（2）また、今後の意向をお聞かせください。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今後も参加し続ける	84	20.7
2	今後は活動を止めたい	0	0.0
3	今後は参加してみたい	234	57.8
4	今後も参加するつもりは無い	87	21.5
	不明	0	0.0
サンプル数 (%ベース)		405	100.0

2 問2(1)活動への参加状況について「1.現在、参加している」を選択した農村振興モニターのアンケート結果(クリーム色のアンケート用紙)

問3 現在、あなたが参加している農山漁村の活性化(例えば、都市農村交流、農産加工、農業体験、環境美化、伝統文化保全継承活動等)に向けた活動について、その活動の内容、活動を担っている組織、組織が活動している範囲についてお聞きします。

(1) 現在、あなたが参加されている農山漁村の活性化に向けた活動はどのような活動内容ですか。

No.	おもに取組まれている活動	主な活動「3つ」			特に重要だと思う活動「1つ」		
		件数	(全体)%	順位	件数	(全体)%	順位
1	地元農産物を農産物直売所で販売	16	19.0	6	8	9.5	4
2	地元農産物を活用した加工品の製造・販売	17	20.2	5	7	8.3	5
3	地元農産物を料理として提供する農村レストランの運営	3	3.6	14	1	1.2	11
4	田植え体験、収穫体験、野菜の刈り取り体験などの農業体験	18	21.4	4	6	7.1	6
5	郷土料理などの料理体験、わら細工の製作体験など農村体験	7	8.3	10	2	2.4	8
6	ジャム、ジュース、そばうちなどの農産物加工体験	12	14.3	9	2	2.4	8
7	棚田、果樹園などのオーナー制度の運営	0	0.0	18	0	0.0	
8	市民農園・体験農園の開設や運営	5	6.0	11	1	1.2	11
9	農家民宿の運営	1	1.2	15	1	1.2	11
10	棚田・谷地田、段々畑などの維持管理・保全	5	6.0	11	1	1.2	11
11	里山・山林・自然草地などの維持管理・保全	21	25.0	3	9	10.7	3
12	ため池・湖沼などの環境美化・保全	16	19.0	6	2	2.4	8
13	河川・水路・花壇づくりなどの環境美化・保全	41	48.8	1	15	17.9	2
14	伝統的町並み・伝統的家屋など建築物の維持管理・保全	1	1.2	15	0	0.0	
15	伝統工芸・芸能・祭りなどの保全・継承	29	34.5	2	16	19.0	1
16	民話の語り部や観光ボランティアガイド	4	4.8	13	0	0.0	
17	わからない	1	1.2	15	0	0.0	
18	その他	13	15.5	8	4	4.8	7
	不明	0	0.0		9	10.7	
	サンプル数 (%ベース)	84	100.0		84	100.0	

◆ 「18. その他」

水田農業ビジョン推進協議会（加工米生産の検討、地元産小麦を使った素麺、うどんの試作、地産地消運動）／市役所職員として地域資源を活かした仕事に従事／地区集会所の清掃・空き缶収集、NPO法人阿波勝浦井戸端塾の活動の協力／HPで農村の良さをPR／炭焼き体験教室／学校給食センターへ食材の提供（大根、じゃがいも、ねぎ、味噌、小松菜など）／道路清掃／田・畑を借り、仲間と共に日本古来の農法で年間通して作業のかたわら、小学生から大人に体験を呼びかけ、収穫祭を広く呼びかけて行っている／農業なんでも相談員／荒廃農地の開墾、そば作り／農村女性ライフスタイルの向上並びに地位向上の活動、など

(2) 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動は、どのような組織、グループ又は団体（以下「組織等」という。）が中心となって担われていますか。

No.	活動を担っている組織等	件数	(全体)%	順位
1	個人又は家族単位での組織	13	15.5	3
2	集落営農組織や農事組合法人など農業者主体の活動組織等	7	8.3	5
3	農協女性部や生活改善グループなど女性主体の活動組織等	3	3.6	8
4	自治会、町内会、行政区などの地域の活動組織等	26	31.0	1
5	P T A、子ども会、公民館などの地域の活動組織等	7	8.3	5
6	同好会や趣味グループなどの地域の活動組織等	8	9.5	4
7	まちづくり団体など地域活動を実施するための活動組織等	14	16.7	2
8	わからない	0	0.0	
9	その他	6	7.1	7
	不明	0	0.0	
サンプル数 (%ベース)		84	100.0	

◆ 「9. その他」

関わる業務が多いため複数ありますが、団体が主というよりは、見込みのある事業に集まる人という感じです／地区有志（女性）／板取観光協会／市民と市／JAひだ「荒城農業体験交流館」／農村女性及び消費者の組織（「酒田市きらきらネットワーク倶楽部」）、など

(3) 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等は、どのようなきっかけで設立された組織等ですか。

No.	組織等を設立したきっかけ	おもなきっかけ「すべて」			特に重要なきっかけ「1つ」		
		件数	(全体)%	順位	件数	(全体)%	順位
1	農地・水・環境保全向上対策の導入	20	23.8	2	11	13.1	2
2	農山漁村地域力発掘支援モデル事業の導入	2	2.4	8	0	0.0	
3	農村コミュニティ再生・活性化支援事業の導入	9	10.7	5	2	2.4	5
4	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の導入	2	2.4	8	0	0.0	
5	広域連携共生・対流等対策交付金の導入	2	2.4	8	0	0.0	
6	その他国の事業導入	2	2.4	8	1	1.2	6
7	都道府県独自の事業導入	4	4.8	6	0	0.0	
8	市町村単独での事業導入	13	15.5	3	7	8.3	3
9	従来から独自に活動している	40	47.6	1	14	16.7	1
10	わからない	3	3.6	7	0	0.0	
11	その他	12	14.3	4	4	4.8	4
	不明	3	3.6		45	53.6	
	サンプル数 (%ベース)	84	100.0		84	100.0	

◆ 「6. その他国の事業」

地域用水機能増進事業（富山県高岡市）／グリーン・ツーリズム事業、緊急雇用対策事業（埼玉県滑川町）、など

◆ 「7. 都道府県独自の事業」

元気の森づくり（北海道上川町）／農業なんでも相談員（鹿児島県和泊町）、など

◆ 「8. 市町村単独の事業」

農村活性化事業（長野県安曇野市）／まるごと市場さんわ 182 ステーション（道の駅）（広島県神石高原町）／小海ブランド創生研究会（長野県小海町）／水と土ふれあい事業（不明）／ふるさとの森（京都府綾部町）／酒田市農村女性活性化促進事業（山形県酒田市）、など

◆ 「11. その他」

花と緑と交流のまちづくり／売れる商品がきっかけ／平野煙友会／美濃加茂の環境を考える会で勉強会などを続けた後、土作りが大事であることを認識した同じ志の仲間が集まって結成／生産者の支援／市より指定管理者として認定／地域の勉強会で知り合った仲間／福島団体応援アトラクションに参加したのがきっかけ／安全・安心な野菜づくりを推進するため、など

(4) 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等は、どのような範囲で活動されていますか。

No.	おもな活動の範囲	件数	(全体)%	順位
1	「集落」が活動範囲である	25	29.8	1
2	「行政区」が活動範囲である	17	20.2	2
3	「大字」が活動範囲である	7	8.3	5
4	「小学校区」が活動範囲である	4	4.8	7
5	昭和の合併前のいわゆる「旧町村」が活動範囲である	2	2.4	8
6	平成の合併前の市町村が活動範囲である	11	13.1	3
7	平成の合併後の市町村全域が活動範囲である	5	6.0	6
8	わからない	9	10.7	4
9	その他	0	0.0	
	不明	4	4.8	
	サンプル数 (%ベース)	84	100.0	

◆ 「9. その他」

経済的にプラスになれば、範囲はこだわっていないような気がしますが、おおむね行政区内におさえると思います／用水系エリア／河北干拓地区内／周辺の他市町村／集落と興味のある方、など

問4 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等と他組織等との**連携**に関することをお聞きします。

- (1) 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等は、現在、他の組織等とも連携して活動していますか。

No.	連携の状況	件数	(全体)%	順位
1	現在、単独で活動している	34	40.5	2
2	現在、連携して活動している	43	51.2	1
3	わからない	6	7.1	3
	不明	1	1.2	
サンプル数 (%ベース)		84	100.0	

- (2) 問4(1)で「2. 現在、連携して活動している」を選択された方にお聞きします。
 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等は、現在、どのような組織等と連携していますか。

No.	連携している相手先	おもな連携の相手先 「すべて」			特に重要な相手先 「1つ」		
		件数	(全体)%	順位	件数	(全体)%	順位
1	国又は国の研究機関	3	7.0	17	0	0.0	
2	都道府県又は都道府県の研究機関	2	4.7	20	0	0.0	
3	市町村又は市町村の研究機関	8	18.6	9	1	2.3	6
4	教育委員会	5	11.6	13	0	0.0	
5	第三セクター	1	2.3	21	0	0.0	
6	農業協同組合	9	20.9	5	0	0.0	
7	土地改良区、土地改良事業団体連合会	10	23.3	4	2	4.7	3
8	集落営農や農事組合法人など農業者主体の活動組織等	9	20.9	5	2	4.7	3
9	農協女性部や生活改善グループなど女性主体の活動組織等	9	20.9	5	2	4.7	3
10	森林組合（青年部、女性部などの部会も含む）	4	9.3	14	1	2.3	6
11	漁業協同組合（青年部、女性部などの部会も含む）	0	0.0		0	0.0	
12	商工会・商工会議所（青年部、女性部などの部会も含む）	7	16.3	12	0	0.0	
13	観光協会（青年部、女性部などの部会も含む）	9	20.9	5	0	0.0	
14	幼稚園・保育園	4	9.3	14	0	0.0	
15	小中高等学校（高専も含む）	8	18.6	9	0	0.0	
16	各種専修・専門学校	0	0.0		0	0.0	
17	大学（短大、大学校も含む）	1	2.3	21	0	0.0	
18	一般企業・金融機関	3	7.0	17	0	0.0	
19	自治会、町内会、行政区などの地域の活動組織等	18	41.9	1	7	16.3	1
20	P T A、子ども会、公民館などの地域の活動組織等	17	39.5	2	1	2.3	6
21	同好会や趣味グループなどの地域の活動組織等	8	18.6	9	1	2.3	6
22	まちづくり団体など地域活動を実施するための組織等	15	34.9	3	3	7.0	2
23	社会福祉協議会、シルバー人材センター	3	7.0	17	0	0.0	
24	国、都道府県又は市町村の事業導入を契機として設立された団体	1	2.3	21	1	2.3	6
25	わからない	0	0.0		0	0.0	
26	その他	4	9.3	14	0	0.0	
	不明	0	0.0		22	51.2	
サンプル数 (%ベース)		43	100.0		43	100.0	

◆ 「26. その他」

秋田と奄美大島との連携（海と山）／婦人会／N P Oユニセフ、など

- (3) 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等と他の組織等との連携について、今後の意向をお聞かせください。

No.	今後の連携の意向	件数	(全体)%	順位
1	今後も単独で活動したほうが良い	13	15.5	3
2	今後は他組織とも連携して活動したほうが良い	20	23.8	2
3	今後も連携して活動していくが、連携先は現状維持で良い	31	36.9	1
4	今後は連携先をさらに増やして活動したほうが良い	9	10.7	4
5	今後は連携先を減らして活動したほうが良い	0	0.0	0
6	わからない	6	7.1	5
7	その他	0	0.0	0
	不明	5	6.0	
サンプル数 (%ベース)		84	100.0	

(4) 問4(2)で「2. 今後は他組織とも連携して活動したい」又は「4. 今後は連携先を増やして活動したい」を選択された方にお聞きします。

問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等は、今後のどのような組織等と連携して活動すると、より効果的な活動ができると思いますか。

No.	連携したほうが良い相手先	連携したほうが良い相手先 「すべて」			特に重要な相手先 「1つ」		
		件数	(全体)%	順位	件数	(全体)%	順位
1	国又は国の研究機関	3	10.3	20	0	0.0	
2	都道府県又は都道府県の研究機関	8	27.6	4	2	6.9	3
3	市町村又は市町村の研究機関	6	20.7	8	3	10.3	2
4	教育委員会	3	10.3	20	0	0.0	
5	第三セクター	4	13.8	16	1	3.4	8
6	農業協同組合	12	41.4	2	1	3.4	8
7	土地改良区、土地改良事業団体連合会	2	6.9	22	1	3.4	8
8	集落営農組織や農事組合法人など 農業者主体の活動組織等	7	24.1	5	1	3.4	8
9	農協女性部や生活改善グループなど 女性主体の活動組織等	6	20.7	8	1	3.4	8
10	森林組合(青年部、女性部などの 部会も含む)	4	13.8	16	0	0.0	
11	漁業協同組合(青年部、女性部など の部会も含む)	1	3.4	23	0	0.0	
12	商工会・商工会議所(青年部、女性部 などの部会も含む)	6	20.7	8	0	0.0	
13	観光協会(青年部、女性部などの 部会も含む)	5	17.2	13	2	6.9	3
14	幼稚園・保育園	4	13.8	16	0	0.0	
15	小中高等学校(高専も含む)	7	24.1	5	0	0.0	
16	各種専修・専門学校	1	3.4	23	0	0.0	
17	大学(短大、大学校も含む)	5	17.2	13	2	6.9	3
18	一般企業・金融機関	6	20.7	8	0	0.0	
19	自治会、町内会、行政区などの地 域の活動組織等	12	41.4	2	2	6.9	3
20	P T A、子ども会、公民館などの 地域の活動組織等	7	24.1	5	2	6.9	3
21	同好会や趣味グループなどの地域 の活動組織等	4	13.8	16	0	0.0	
22	まちづくり団体など地域活動を実 施するための組織等	14	48.3	1	4	13.8	1
23	社会福祉協議会、シルバー人材セ ンター	5	17.2	13	1	3.4	8
24	国、都道府県又は市町村の事業導 入を契機として設立された団体	6	20.7	8	1	3.4	8
25	わからない	0	0.0		0	0.0	
26	その他	1	3.4	23	0	0.0	
	不明	1	3.4		5	17.2	
サンプル数(%ベース)		29	100.0		29	100.0	

問5 一般的に他組織等と連携して活動することのメリットや課題等についてお聞きします。

(1) 他組織等と連携するメリットは何だと思われますか。

No.	連携して活動するメリット	連携のおもなメリット 「3つ」			特に重要なメリット 「1つ」		
		件数	(全体)%	順位	件数	(全体)%	順位
1	有益な情報提供やアドバイスを受けることができる	43	51.2	1	20	23.8	1
2	自分たちの活動の機会が広がる	26	31.0	6	6	7.1	7
3	自分たちの活動の幅が広がる（活動メニューが増える、など）	37	44.0	2	9	10.7	3
4	自分たちの活動で不足している部分を補える	35	41.7	3	9	10.7	3
5	対外的に信用力が高まる	6	7.1	8	0	0.0	
6	自分達の視野が広がる	32	38.1	4	7	8.3	5
7	活動の参加者が増える	32	38.1	4	11	13.1	2
8	活動資金の確保など資金的支援が期待できる	19	22.6	7	7	8.3	5
9	わからない	2	2.4	9	0	0.0	
10	その他	2	2.4	9	1	1.2	8
	不明	3	3.6		14	16.7	
サンプル数 (%ベース)		84	100.0		84	100.0	

◆ 「10. その他」

売り先が増える／今の組織のみでは将来的に維持活動が困難になる／ネットワーク、人とのつながりが広がる、など

(2) 他組織等と連携しようとする場合、どのようなことが課題になると思われますか。

No.	他組織等と連携して活動しようとする場合の課題	連携のおもな課題「3つ」			特に重要な課題「1つ」		
		件数	(全体)%	順位	件数	(全体)%	順位
1	連携先に関する情報収集	12	14.3	7	0	0.0	
2	連携先を紹介・斡旋してくれる仲介者や仲介組織についてのPR強化	10	11.9	8	2	2.4	7
3	連携先との活動をすすめるための体制づくりや人材の確保	54	64.3	1	20	23.8	1
4	連携先との活動における取組内容や人材など役割分担	30	35.7	4	10	11.9	3
5	連携先との活動における資金確保や資金の分担	22	26.2	6	8	9.5	5
6	連携先と一緒に活動をするための施設や事務所の確保	7	8.3	9	2	2.4	7
7	連携して活動を続けていくための後継者の確保	33	39.3	2	14	16.7	2
8	連携して活動を行う上での地域の理解・協力	31	36.9	3	9	10.7	4
9	連携して活動を行う上での家族の理解・協力	6	7.1	10	0	0.0	
10	連携して活動を行う上での行政的な支援	27	32.1	5	6	7.1	6
11	わからない	3	3.6	11	0	0.0	
12	その他	1	1.2	12	1	1.2	9
	不明	2	2.4		12	14.3	
サンプル数 (%ベース)		84	100.0		84	100.0	

◆「10. その他」

自分の売りたい物のない土地と連携する、など

問6 自分たちの活動組織等と他組織等とを結びつけてくれる「仲介役」についてお聞きします。

(1) あなたは、このような組織と組織を結びつける「仲介役」が必要だと思いますか。

No.	仲介役の必要性	件数	(全体)%	順位
1	必要だと思う	29	34.5	2
2	場合によっては必要だと思う	42	50.0	1
3	あまり必要だと思わない	9	10.7	3
4	必要だと思わない	3	3.6	4
5	わからない	0	0.0	
6	その他	0	0.0	
	不明	1	1.2	
サンプル数 (%ベース)		84	100.0	

◆ 「10. その他」

自分の売りたい物のない土地と連携する、など

(2) あなたは、このような「仲介役」にどのような役割を期待しますか。

No.	仲介役に期待する役割	期待するおもな役割「3つ」			特に重要な役割「1つ」		
		件数	(全体)%	順位	件数	(全体)%	順位
1	連携先の情報を収集し、提供してくれること	43	60.6	1	11	15.5	2
2	連携先をみつけ、自分たちの組織と引き合わせてくれること	17	23.9	5	6	8.5	5
3	連携先との活動計画立案への助言・指導をしてくれること	42	59.2	3	19	26.8	1
4	活動実施への資金確保情報、取組ノウハウを提供してくれること	29	40.8	4	8	11.3	4
5	連携先との利害調整をしてくれること	16	22.5	6	4	5.6	6
6	連携先との連携の維持に役立つ助言や支援をしてくれること	43	60.6	1	11	15.5	2
7	わからない	1	1.4	7	0	0.0	
8	その他	0	0.0		0	0.0	
	不明	0	0.0		12	16.9	
サンプル数 (%ベース)		71	100.0		71	100.0	

(3) あなたは、このような「仲介役」としてどのような組織等が適していると思いますか。

No.	仲介役としてふさわしい組織等	ふさわしい組織等 「3つ」			特にふさわしい組織等 「1つ」		
		件数	(全体)%	順位	件数	(全体)%	順位
1	国又は国の研究機関	8	11.3	8	1	1.4	11
2	都道府県又は都道府県の研究機関	15	21.1	4	6	8.5	3
3	市町村又は市町村の研究機関	37	52.1	1	11	15.5	1
4	教育委員会	6	8.5	11	0	0.0	
5	第三セクター	6	8.5	11	1	1.4	11
6	農業協同組合	18	25.4	3	3	4.2	6
7	土地改良区、土地改良事業団体連合会	11	15.5	7	3	4.2	6
8	集落営農や農事組合法人など農業者主体の活動組織等	5	7.0	13	1	1.4	11
9	農協女性部や生活改善グループなど女性主体の活動組織等	7	9.9	10	2	2.8	8
10	森林組合（青年部、女性部などの部会も含む）	4	5.6	16	0	0.0	
11	漁業協同組合（青年部、女性部などの部会も含む）	2	2.8	20	0	0.0	
12	商工会・商工会議所（青年部、女性部などの部会も含む）	8	11.3	8	2	2.8	8
13	観光協会（青年部、女性部などの部会も含む）	5	7.0	13	0	0.0	
14	幼稚園・保育園	0	0.0		0	0.0	
15	小中高等学校（高専も含む）	1	1.4	22	0	0.0	
16	各種専修・専門学校	0	0.0		0	0.0	
17	大学（短大、大学校も含む）	3	4.2	17	1	1.4	11
18	一般企業・金融機関	3	4.2	17	2	2.8	8
19	自治会、町内会、行政区などの地域の活動組織等	15	21.1	4	10	14.1	2
20	P T A、子ども会、公民館などの地域の活動組織等	3	4.2	17	0	0.0	
21	同好会や趣味グループなどの地域の活動組織等	5	7.0	13	0	0.0	
22	まちづくり団体など地域活動を実施するための組織等	20	28.2	2	5	7.0	5
23	社会福祉協議会、シルバー人材センター	2	2.8	20	0	0.0	
24	国、都道府県又は市町村の事業導入を契機として設立された団体	12	16.9	6	6	8.5	3
25	わからない	1	1.4	22	0	0.0	
26	その他	1	1.4	22	0	0.0	
	不明	1	1.4		17	23.9	
	サンプル数 (%ベース)	71	100.0		71	100.0	

(4) あなたが「仲介役」を選ぶ場合の基準についてお聞きします。

No.	仲介役を選ぶ基準	仲介役を選ぶ基準 「3つ」			特に重要な基準 「1つ」		
		件数	(全体)%	順位	件数	(全体)%	順位
1	信頼できる組織、信用できる組織等かどうかで決める	37	52.1	3	11	15.5	2
2	頼みやすい組織等かどうかで決める	16	22.5	5	0	0.0	
3	地元とのつながりがある組織等かどうかで決める	43	60.6	2	7	9.9	4
4	実際に組織等と組織等とを結びつけた実績のある組織等かどうかで	10	14.1	6	1	1.4	5
5	自分たちの活動目的を理解し、支援してくれる組織等かどうかで決	52	73.2	1	29	40.8	1
6	継続的に情報提供や助言などをおこなってくれるかどうかで決める	32	45.1	4	9	12.7	3
7	わからない	2	2.8	7	0	0.0	
8	その他	1	1.4	8	1	1.4	5
	不明	3	4.2		13	18.3	
	サンプル数 (%ベース)	71	100.0		71	100.0	

◆ 「8. その他」

しっかりと最後まで責任を持って面倒を見てくれるかどうか、など

問7 その他、組織等との連携や、自分たちの活動組織等と他組織等を結びつける仲介役についてあなたのご意見・ご要望をお聞きかせください。

<1>問6（1）仲介役の必要性で「1. 必要だと思う」を選択した回答者の自由記入

- 農村としての町づくりという点で行政的、農産物や加工品を販売して利益をうまなければならないという点で民間的ではあるが、両者のバランスを保つのが大事であり、難しい点でもある。その辺りを理解しながら連携に持ってゆくのが大事であり、理解が必要である。
- 私たちは和太鼓を通して地域活性化に参加しています。いろいろな団体との交流を持ってイベントの盛り上げ隊として協力しています。子どもと親のチームなので市の協力や小学校の協力が大変ありがたく思っております。長く伝承できることを願っています。
- 一回、二回ぐらでわかったような事を言う団体は信用できない。一年、二年とつきあってくれる団体。
- 行政・自治会などが中心となり未来を背負っていく若い人に情報提供や助言を行い活動目的を理解のうえ実績ある組織に持って行く。
- 地元の市町村職員やJA職員は、積極的に参加協力しているが、国・県の職員はかなり消極的である。地域の一員として参加協力をお願いします。
- 荒廃農地の対策、田畑に杉などを植えて大きくなり住民の日照権の侵害が出ている。

<2>問6（1）仲介役の必要性で「2. 場合によっては必要だと思う」を選択した回答者の自由記入

- 連携とは、連携したいと言って成果が出るわけではなく、相手に何を求めるか。相手から何を求められかの問題だと思います。現在の農山漁村は、友達を増やしたいというような連携を求めている人はいません。少しでも高く買ってくれる相手を求めています。そういう意味では組織ありきの連携ではなく発想を変えて連携に合わせた形の組織を作るくらいの意気込みが必要なのではないでしょうか。生産者は、売れる取り組みであればまとまります。私はそういう仕事にたずさわっていますが、組織作りから入った取り組みはあまり良い成果を残していません。一番の仲介役は、「もうかる」事だと自信を持って言います。
- 私どもNPO法人阿波勝浦井戸端塾は独自の事業として「ビックひな祭り」を開催し、町の交流人口増と特産品の流通に大きく貢献している。関係組織では既に連携を求め活動している。
 - ①「生名ロマンの会」では、会場に隣接の生名谷川堤防で行われている「さくら祭り」の大集会活動をビックひな祭り会場で行い、桜とひな祭りの相乗効果をあげている。
 - ②町内商工会では、ひな街道をさかもと地区では、おひな様の奥座敷等を企画し、実践している。こうした事について更に実践できるアイデアを紹介して頂き、現組織の連携とその他の組織が連携し、

より活発な活動が出来るような仲介指導者が必要。

- 一定の継続的な活動を行っている組織内ではメンバーが固定して外部との意識的な交流を持たない限り刺激が少ない馴れ合い的なものになりがちなることを皆、自覚しています。しかし、他組織との連携や交流の必要性、意義を理解しえても、自力での実行や実現のための努力は必ずしも実を結ぶ保証はなく、無駄やすれ違いなど全体に共有されず、徒労感を生むこともあり、他力本願（良き仲介者をあていする）にならざるをえない部分があります。むしろ積極的に全体を見渡せる位置にある人に、手をつなぐ相手を紹介してもらうのも一手法かとも思う。
- 活動グループだけでなく、連携して行える組織があると、ニーズに答えたものが作れたりするだけでなく、資金力がつき、雇用に結びつくこともできると思います。上の例のように商工会、その他仲介役があるとグループだけでなく、幅広くそして確実に活動するための基盤ができるようになると思います。
- 助言を求めたときに、建前や抽象的な助言でなく、具体的にそして事例等もいただけたら、より中身が充実したものになると同時に今後の運営にプラスになると思われる。者前に壁ができるのが一番こわい。それを乗り越えるのは助言。これを的確に受けた時が（受けられた時が）その壁がなくなるのでは？我々素人は助言なしでは不安でもあるし、自信もない。
- 昔からのお祭りを守っている。地域の住民が守ってきたが、高齢化などにより困難になってきているが、地元の高齢者を中心に動いているので、危機感があまりないようである。若いグループを増やさないと続いていけないので、その人たちを呼べて住まうことが出来ればと思います。
- 私が入会している道の駅ほりがねの里は主に農家の主婦が個人的に参加している直売所です。活動が始まってから15～16年になり、4年前には農事組合法人化して現在に至っていますが、婦人たちも高齢化が進み、農業に魅力も持てないため、若い後継者が育ちません。最近は、売り上げも横ばいの状態です。今年も全員でがんばらなくては、と思います。
- 国や農業関係団体が無理に仲介する必要はない。良い行動をしていけば自然に結びつくものである。このことで新規の補助事業を作ることはナンセンスである。
- 様々な活動団体があるので、それをもっと広くPRしたり、“こんなものがあるよ”と広報したりする場をもっと必要である
- 生活改善グループに相談して助力を依頼したい。
- 広く中立的立場をもつ「行政」が行うのもよいと思う。
- ふるさと振興会の会長をしているが老人につき後継者が問題である。

＜3＞問6（1）仲介役の必要性で「3. あまり必要だとは思わない」を選択した回答者の自由記入

- 勉強会や講演会に出席することで同じ意識の人との出会いがあり横のつながりができる。・活動の呼びかけ（収穫祭や田植え祭り等）を地元新聞の折込み紙に載せてもらえる事から、共鳴してくれる人が少しづつでも参加してくれる・仲介者に頼りすぎて表面で結びついても結果、根本的に合わないこともある。やはり、地道でも感性が同じ結びつきが長続きすると思う。
- きらきらネットワーク倶楽部は、活動の指針となる農村女性活動ビジョンを平成7年度に作成、目標達成のため、主体的に活動し13年目の現在、農村女性活動のリーダーとして高い評価を得、今後も広域的な活動を推進する予定です。私たちは、自主的に役割分担をし、活動に仲介役は不要です。連携等は自分たちで行いながら必要に応じて行政に相談したりしております。
- 目的意識がしっかりしてないと、一緒に活動をしていく時、意見が合わず、遊びの延長になったり、計画倒れで終わってしまう。単一の事業だけならよいが、継続する事業の場合は仲介する組織等の説明がしっかりしてないと、続けていく努力が大変になる。最近、公民館事業等が減って協力がなくなってきた。
- 新規農業者へのアドバイス、相談を受け、地域の農業の担い手になれるよう今後も活動をしていきたい。
- 農山漁村に住む人たちの自主性が尊重されるように資金面、発想面のしほりをなくして欲しい（地域独自の主体性を大切にし特徴がだせるように）

＜4＞問6（1）仲介役の必要性で「4. 必要だとは思わない」を選択した回答者の自由記入

- 私どもは65歳以上の高齢者のため現状維持がベストと考えています。毎年県内外の同様のグループ先へ研修旅行をして知識を深めています。この地域の受け継いできた文化を子どもたちに伝えておくことが大切と考え毎年小学六年生に炭焼き体験をさせております。